

事務事業名	高齢者等バス・タクシー利用料金助成事業	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課	
総合計画体系	政策名	(Ⅲ)支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》	所属G	高齢者福祉G	課長名	石飛 和宏
	施策名	(22)高齢者福祉の充実	担当者名	鳥谷 朱希	電話番号	0854-40-1042 (内線) 2152
	目的	対象 65歳以上の市民 意図 生きがいを持って、いきいきと暮らす。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 1 5 0 4 項 目 中事業 中事業名 0 5 3 0 1 5	在宅福祉事業 高齢者等バス・タクシー利用 料金助成事業	
	基本事業名	(065)地域ケア体制の充実				
目的	対象 65歳以上の市民 意図 住み慣れた地域で安心して暮らす。					

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H29 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	普通自動車運転免許を持っていない65歳以上の者等の外出時の移動手段を確保するため、バスやタクシーで使える「優待乗車券」を券面額の半額で交付する。 交付額：100円券10枚つづりで500円 500円券10枚つづりで2,500円 年間交付上限額：券面額で36,000円

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	30年度実績(30年度に行った主な活動) ・資格証及び優待乗車券の交付 ・市内タクシー事業者への優待乗車券使用 分支払 ・実績管理	元年度計画(元年度に計画する主な活動) ・資格証及び優待乗車券の交付 ・市内タクシー事業者への優待乗車券使用 分支払 ・実績管理			
	② 活動指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
ア	資格証交付者数	人		1,172	961	950
イ	優待乗車券交付券面額	千円		19,805	19,256	19,000
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)	
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	ア	65歳以上の者数(住民基本台帳)	人		14,714	14,709	14,750
		イ	手帳所持者数	人		2,672	2,603	2,603
		ウ						
④ 成果指標	ア	タクシー・デマンドタクシーで優待乗車券を利用した者数	人		913	953	1,000	
	イ	何か手助けをしてほしいことがある65歳以上の者の割合	%		11.4	14.4	14.4	
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)	② コストの推移	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)	
需用費 58千円、 扶助費 13,829千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
【その他財源】 優待乗車券負担金 8,058千円		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円		8,978	8,058	7,427
		一般財源	千円		4,707	5,829	7,745
	事業費計(A)	千円		13,685	13,887	15,172	
人件費	正規職員従事人数	人		8	8		
	延べ業務時間	時間		430	388		
	人件費計(B)	千円		1,753	1,681		
	トータルコスト(A)+(B)	千円		15,438	15,568		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
H24年度に「優待回数乗車券」として制度を創設。2年の試行期間と3年の本格実施を行った。その後、H28年度に制度の見直しを行い、H29年度より実施している。	特になし。	市内バスのみでなく、市外に向けたバスでも利用したいとの声がある。 購入上限、タクシーでの使用上限を引き上げて欲しいとの声もある。

事務事業名	高齢者等バス・タクシー利用料金助成事業	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
-------	---------------------	-----	-------	-----	----------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合 →	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由	使用できるバスやタクシーの対象について拡大の検討余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由	少子・高齢・過疎化が進む中、移動手段を持たない65歳以上の者等の移動支援は必要不可欠なものとなっている。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	(具体的な手段や類似事業名) 理由	65歳以上の者を対象とした移動支援策は他にない。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	制度移行の際に、購入上限額を設定し、事業費を削減した。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	制度移行の際に、交付方法の変更、券面額の見直しにより事務量を削減した。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由	購入上限額を設定しているため、突出した利用はない。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	使用できるバスやタクシーの対象について拡大の検討余地がある。	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
使用できるバスやタクシーの対象について拡大の検討余地がある。																			